小田原市報
第118号
発行所
小田原市役所
小田原市幸町138
編集兼発行人
浦賀松
定価一部三円
交通費日曜所用

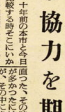
人口 121.671人
男 59.685人
女 61.986人
世帯 24.876
1月1日現在

伸びゆく小田原

写真はビルの立ち並んだ駅前

新春所感

懸案の諸事業を遂行
飛躍的発展に市民の協力を期待



小田原市長
鈴木 十郎

謹しんで新年の御慶を申し上げます。

昭和三十年度に始まりました第一次小田原市総合計画は、本年度を以て、その第一次の完成年度となります。

この間、市民の皆様の御協力と、市当局の不断の努力とによりまして、この計画の大部分の事業は、ほぼ、その目的を達成することが出来ましたことは、誠に、慶賀に堪えないところであります。

殊に、この計画の中で、最も重要な事業の一つとして、市民の皆様の強い要望のあります、市営住宅の建設は、本年度、その完成を見ることが出来ますことは、誠に、喜びに堪えないところであります。

また、この計画の中で、最も、市民の皆様の、

対策委員会国鉄に要望書

小田原に中間駅きまる

＝東海道広軌新幹線＝

国鉄には、東海道広軌新幹線の力を強くし、縦貫市にもちろん、ぜひとも駅が中間駅計画、施行程の二度による陳情委員会が、ようやくに大和、小田原の国の経済交の発展に大きな効果を与えるものとして、特に市議会議員の発展に大きな効果を与えるものとして、特に市議会議員の発展に大きな効果を与えるものとして、特に市議会議員

がん健康相談はじまる

相談日は毎週火・金曜

かねてお知らせしておりましたように、がん健康相談は、いよいよ来たる二月一日から実施されることになりました。

一月一日から実施されましたが、まず、生活保護受けている方人の数が六分部に、市民部の方に、市民部の方に、市民部の方

威力を示した消防始式

功労者一六五名を表彰

新春初頭の消防始式は、恒例に従い組織の全員（六名）の参加を得て、去る一月十二日、駅前の市民会館で挙行された。式は、まず、消防ポンプ、ラッパ、サイレンの一斉吹鳴で始まり、次に、市長の式辞、来賓の祝辞、表彰状の授与、消防ポンプ操作の実演、ラッパ、サイレンの吹奏、分列行進、